

SANSHIN GROUP

Monthly Report on the ESG

Mar.2026



INDEX

1. サンシングループ 経営理念
2. サンシングループ 経営ビジョン
3. 「徳のある商人」を育成するために
4. TOP MESSAGE
5. グループ社員による今月のつぶやき
6. ESG Report (品質)
7. ESG Report (環境)
8. ESG Report (地域貢献活動)

我々はお客様を愛し愛される 徳のある商人を目指し 世界の文化文明の発展に貢献する

● 経営ビジョン

お客様満足度の向上 / 利益ある成長・発展

● 代表挨拶

弊社は、さまざまなメーカーの電子部品を取り扱い、商社機能とメーカー機能を兼ね備える技術商社です。お客様のニーズに応じた最適な技術シーズを提供し、多様な提案を通じて、事業成功のお手伝いをさせていただきます。

「徳のある商人」であることを企業理念に掲げ、創業から60周年を迎えます。これからも変わらぬ価値を提供し続け、絶えず成長と発展を探求してまいります。引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 石井 宏宗

～「徳のある商人」を育成するために～



自身の経営貢献

- 経営理念から個人目標まで体系的に展開し、自身の企業貢献を明確化
- 自発的にチャレンジしやすい環境

経営参画

- 若手メンバーで中期経営計画作成プロジェクトを行い、新規事業や社会貢献をアイデア&ドリーム
- 週次/月次ミーティングで経営状況や方針の情報共有

キャリア

- 年齢・性別関係なく役職に抜擢され、キャリアを構築できる仕組み
- EIGYO育成プログラムによる一人一人の細やかな成長支援

知識・資格・学び

- 社内大学「サンシン大学」：経営・法務・営業・技術・品質管理・WEBマーケティング・生成AI・語学・健康などの講座をリアル/オンラインで開講（就業時間内、会社負担）
- 資格取得支援（簿記・TOEIC・ビジネス・QC検定・MBA/MOTなど）
- 工場見学、企業見学、研修会、YAMINABE会



働く環境

- 社員の働く環境の整備
 - ① 育児休業中の給与補助
 - ② 育児短時間勤務中も給与維持
 - ③ こども手当
 - ④ 介護にあたる社員への柔軟なサポート
 - ⑤ 在宅勤務・テレワーク対応
 - ⑥ 扶養家族のいる社員への人事評価加点
 - ⑦ 勤務間インターバル制度
 - ⑧ 時間単位の有給休暇取得制度
 - ⑨ メンタルヘルスの一環としてオンライン相談フォーム設置（匿名可）
- 「健康優良企業」「健康経営優良法人」等、外部認証の取得
- 副業兼業可能

ネットワーク

- 新入社員へのメンターによるサポート
- 入社後研修で東京・関西などの社員とのフラットな業務交流
- 社内交流会、懇親会の開催

TOP MESSAGE

この時期、多くの方が花粉症に悩まされているのではないのでしょうか。最近では、黄砂やPM2.5などの大気汚染物質が花粉と接触することで花粉表面が傷つき、いわゆる「花粉爆発」により症状が悪化するケースも指摘されています。こうした現象の背景には、気候変動や都市化など、さまざまな環境要因が関係しています。

東京では3月19日に桜の開花が発表され、春の訪れを感じる季節となりました。未来の子どもたちへ、美しい自然環境を残すためにも、大気汚染物質の抑制や環境負荷の軽減に向けて、取り組みを継続していきたいと思えます。

サンシン電気株式会社
執行役員 川口あすみ

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHIN East

ホルムズ海峡の封鎖に伴い、代替ルートによる調達を検討・実施されています。バブ・エル・マンデブ海峡を通過しアデン湾へ抜けていく経路もその一つです。しかしながらイエメンの武装組織フーシ派はイランからの支援を受けているとされており、この海峡もフーシ派による封鎖の恐れがあります。国際原油価格の高騰にも繋がり、日本にとっても遠い地の出来事ではありません。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

With extreme weather becoming more frequent, we must accelerate our efforts to protect the environment. 1. Use the air conditioner as little as possible, and even when you do, don't set the temperature too low. 2. Use public transportation or trams whenever possible to reduce carbon dioxide emissions from cars. 3. Start with you and me by sorting your trash, reducing the use of plastic products, and reusing food waste. (T.Z.)

CSI

日本では結構当たり前に食べることができるヨーグルト。スーパーでいくつか購入し食べてみるのですが、なかなかおいしいヨーグルトがありませんでした。が、最近専門店が出来購入可能になりました。ギリシャヨーグルト・プレーンヨーグルトをよく注文します。ドライマンゴーを入れ冷蔵庫に1日入れ食べます。日本のブルガリアヨーグルトに近いです。便利になりました。(K.S.)

SANSHIN West

2/24に気象庁から今年の春から夏(3月~8月)にかけての長期予報が発表されましたが、例年と同様、「猛暑」が続く恐れがあり、局地的な大雨にも注意が必要とのこと。今から、夏の暑さに気が重くなります。ここ最近でも、上着がいらぬほどの暖かな気温かと思えば、次の日には冬用コートや羽織るくらい冷え込むこともあり、体調管理が難しいですが、気持ちは前向きに頑張りましょう。(Y.S.)

SHINKOWA

近年は暖冬であったのか、今年の千葉工場周辺は非常に厳しい寒さになっています。最低気温は-5~6°Cの日もあり水道配管の凍結がありました。暑さ寒さも彼岸までと言いますが、早く暖かくなってほしいところですが、暖かくなると今度は花粉が飛散しますので、これもまた厄介な環境ですね、インフルエンザ予防・花粉症の対策を忘れずにしましょう。(M.N.)

SC2

【アレルギーと〇〇】春。花粉症持ちの方にはつらい時期ですね。季節の変わり目には喘息も心配です。これらのアレルギー症状悪化に、実は家庭用の合成洗剤が加担しているという国立成育医療センターの報告です。喘息や呼吸器に症状の出るアレルギーにお悩みの方、この春は石けん・セスキのお洗濯でQOLを上げましょう！(M.I.)

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

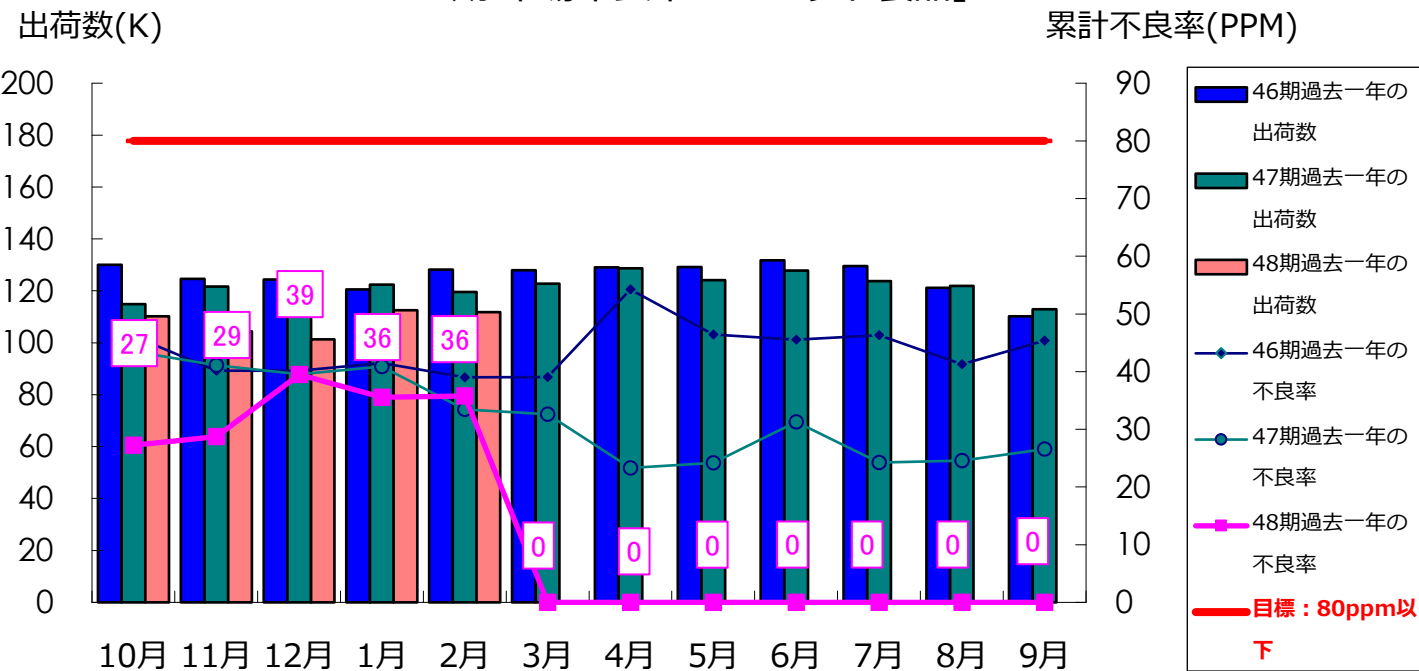
1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質状況

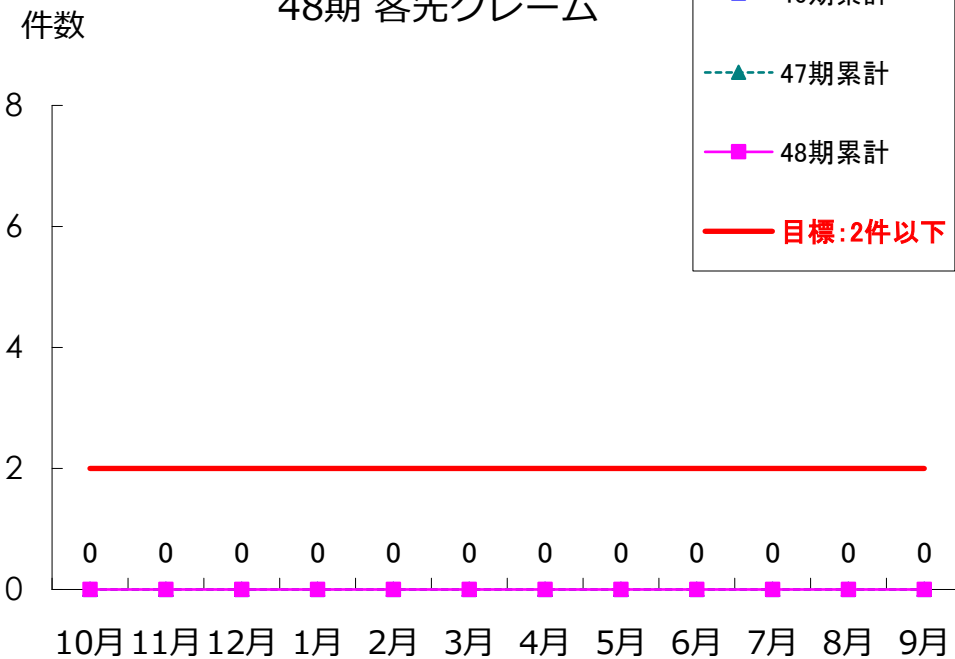
納入品不良率 (目標 : 80ppm)
 48期の累計不良率(解析依頼含む) : 36ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0 件

48期 市場不良率「ユニット製品」



48期 客先クレーム

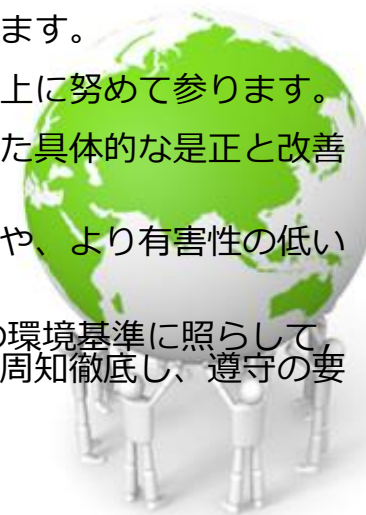


ESG Report (環境)

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。
7. 環境放出化学物質の管理環境中に放出されると害を及ぼすと特定された化学物質については、使用量の削減や、より有害性の低い物質への代替、漏洩の防止などにつとめてまいります。
8. 製品に含まれる有害物質を特定し、「RoHS」等の法規制および「JAMPガイドライン」などの業界と顧客の環境基準に照らして、非含有およびそのための管理体制を遵守します。また、サプライチェーン上流の取引先にもこれらの基準を周知徹底し、遵守の要請を行ってまいります。



TOPICS

■ イラン攻撃による中東情勢について

☑ 中東情勢緊迫化に伴う市況、および今後の見通しについて

■ 航空市況全般（概要）

中東向け貨物ではブッキング停止や中東系航空会社の利用制限が相次ぎ、従来中東経由で輸送されていた欧州向け貨物が直行便に集中しています。この結果、欧州向け航空スペースは急速に逼迫し、さらに東南アジアなど他のアジア発貨物の需要流入や海上輸送からの航空シフトも重なり、日本発貨物のスペース確保にも影響が出始めております。すでにアジア発ではスポット運賃が前週比で上昇しており、日本発でも今後も運賃上昇が見込まれています。

■ 燃油サーチャージ高騰リスク

前週（2/26（木）～3/4（水））のシンガポール・ケロシン平均価格は\$132.02/バレル（前々週比 +39.89）と急騰しました。また、3/4（水）には\$225.44を記録し、その後も3/5（木）\$194.60、3/6（金）\$155.82と高水準で推移しています。3月初週時点でこの水準に達していることから、5月適用分の燃油サーチャージ（FSC）は大幅な上昇が不可避と見込まれます。

■ アジアから貨物流入で逼迫

アジアから貨物流入で逼迫中東向け航空貨物については、最終仕向地が中東となる出荷案件の受託を停止する動きが広がっています。中東系航空会社の運航制限により、中東ハブ空港経由の輸送が滞り、ドバイなどの主要経由地や情勢悪化によりダイバートしたインド・デリーなどで貨物の滞留が発生しています。日本国内でも本来中東系航空会社便に搭載予定だった貨物が搭載できず、出発地で滞留するケースが出ています。こうした影響は欧州向け輸送にも及んでいます。実際に中東系航空会社が使えなくなったことで、欧州向け貨物は迂回運航による輸送能力の制限が発生しており、日本発貨物のスペース逼迫を一層強めています。

■ アジア発市況と今後の見通し

航空運賃の上昇と先行するアジア発市況欧州向け航空貨物運賃はすでに上昇局面に入っており、特にアジア発が先行しています。前週比で倍程度に上昇したスポット運賃が提示された事例もあり、中東情勢の影響が長期化すれば、スペース逼迫とともにさらなる運賃上昇が進む可能性があります。

現時点では市況の先行きは不透明で、通常レートでの手配が難しい状況となっているほか、原油価格上昇による燃油サーチャージ増加も懸念されています。

TOPICS

☑ 中東情勢緊迫化に伴う市況、および今後の見通しについて

■ 海上市況への影響（運賃・保険・燃料）

中東向け貨物の輸送停滞により、世界のコンテナ船腹の2~10%が滞留しているとの分析もあります。船腹やコンテナの偏在が発生し始めており、世界の海上輸送ネットワークにも影響が広がりつつあります。また、原油価格の上昇に伴う燃料サーチャージの上昇や航路迂回による運航コスト増加が見込まれることから、短期コンテナ運賃には上昇圧力が強まるとの見方も出ています。さらに、海上保険では戦争リスク保険料の引き上げや補償停止の可能性も指摘されており、海上輸送コスト全体の上昇が懸念されています。直近では、燃油市場における燃料価格（バンカーコスト）の急騰を背景に、影響が全地域の海上輸送コストへ波及する状況となっております。このため、大手船社を中心に緊急燃料サーチャージ（Emergency Fuel Surcharge：EFS）の導入が相次いで発表されております。

■ ペルシャ湾およびホルムズ海峡周辺での商船攻撃・電子妨害

米国とイスラエルによるイランへの軍事行動以降、ペルシャ湾およびホルムズ海峡周辺では一般商船への攻撃や電子妨害が相次いで報告されています。英国海事貿易オペレーション（UKMTO）によると、ペルシャ湾周辺では複数の商船への攻撃が確認されており、コンテナ船が未確認飛翔体による攻撃を受けてエンジンルーム火災が発生する事例も報告されています。

また、海事分析会社によると、今回の軍事衝突以降、1000隻以上の船舶がGPSやAISに対する電子妨害の影響を受けているとされ、航行の安全確保が難しくなっています。タンカーの爆発や船体損傷などの事例も報告されており、ペルシャ湾周辺海域の航行リスクは急速に高まっています。

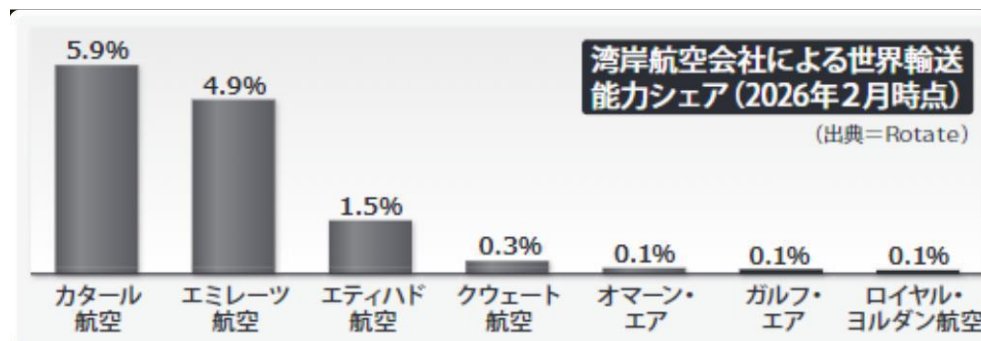
■ 海上輸送への影響（迂回・港湾混雑）

主要コンテナ船社では中東発着貨物のブッキング停止や航路調整が進められています。ペルシャ湾やホルムズ海峡への寄港サービスの見直しが始まり、一部貨物は安全な代替港で荷揚げされる可能性があります。しかし、ペルシャ湾周辺には十分な代替ハブ港が多くないため、特定港への貨物集中による港湾混雑が懸念されています。港湾混雑が進めば本船スケジュールの遅延が拡大し、実効船腹の減少や空コンテナ回送の遅れにつながる可能性があります。また、紅海情勢の改善を受けて一部船社が進めていたスエズ運河経由への回帰の動きも、今回の情勢悪化を受けて再び喜望峰経由へ戻る傾向が見られています。実際、ホルムズ海峡が実質的に封鎖されている影響により、ペルシャ湾内では約200万TEU相当の貨物が滞留しております。これに伴い、各コンテナ船社は当初の寄港計画を変更し、代替港での揚げを実施するなどの対応も行われております。

TOPICS

☑ 中東情勢 (2026年3月4日)

- ・影響国数：11カ国
(イスラエル、イラン、GCC、イラク、レバノン、キプロス)
- ・死者：1,150名以上
(イラン、イスラエル、レバノン、UAE、クウェート)
- ・攻撃を受けたGCCの港湾：6港
(ジェベルアリ、ザイド、フジャイラ、ドゥクム、サララ、ハリファ・ビン・サルマン)
- ・攻撃された商業船舶：5隻
SOH (ホルムズ海峡) : Sky Light、MKD Vyom、Hercules Star、Athe Nova
バーレーン : Stena Imperative
- ・攻撃を受けた空港：4カ所 (DXB、AUH、KWI、EBL)



TOPICS

☑ 国別状況(2026/3/6時点)

国	備考
サララ (オマーン)	ターミナルの状況が不安定なため、断続的に業務が中断する可能性あり
サウジアラビア	全ての港湾は通常どおり稼働。ただし、船舶の寄港は東部州の国内港に限定。 ダンマム (Dammam) およびリヤド (Riyadh) の空港は完全稼働、国際線は航空会社の運航スケジュールおよび空域制限の影響により遅延または欠航が発生する可能性。 バーレーンおよびUAEの国境は、陸上貨物の移動について引き続き開放されている。
クウェート	・Mina Al Ahmadi およびMina Al Zour 港のセキュリティレベルがレベル2に引き上げ ・Mina Al Ahmadi, Mina Abdulla, Mina Al Zur の油槽所 (油ターミナル) は引き続き稼働
バングラデシュ	バングラデシュイランは民間航空機に対して全空域を当面の間閉鎖しており、イスラエルも民間航空の運航を停止。 イラク、カタール、クウェート、UAE (アラブ首長国連邦)、バーレーンなど複数の中東諸国でも一時的に空域制限または閉鎖が実施。 主要な中東系航空会社の多くがバングラデシュ発着便の運航を停止。 サウジ航空 (Saudia) は現在、ダッカ〜ジッダ/リヤド間の一部便を迂回ルートで限定運航していますが、迂回運航に伴い運賃 (貨物運賃) が大幅に上昇 (概ね130~150%の上昇、米国向けは約90~110%の上昇)。 バングラデシュ発の中東向け便の一部旅客便は運航しているが、ビマン (Biman Bangladesh Airlines) は主にダッカに取り残された乗客の輸送に注力している状況。
パキスタン	カラチの米国大使館付近で発生した抗議活動に伴い、周辺地域で警備が強化。 カラチ港へ通じる主要アクセス道路が当該区域を通過しているため、コンテナの移動に支障が生じており、カラチ港における港湾業務および貨物流動に影響あり。ポート・カシム経由の貨物流通は現在も稼働中。 中東発着の定期海上輸送およびドバイ (DXB) 経由の海空連携輸送は、追って通知があるまで全面的に停止。

TOPICS

☑ 国別状況(2026/3/6時点)

国	備考
イスラエル	<p>海上港湾は制限なく通常どおり稼働。 ほとんどの航空会社がTLV（テルアビブ）に就航していないため、航空輸送のキャパシティは非常に限られている。</p> <p>■ 運行状況 EL AL（エルアル）便：ATH、FRA、LCA、LGG CAL便：LGG、JFK 3/10にDHLおよび海南航空が運航再開予定。（日本向けの輸送手段を提供可能見込み） 輸送容量が非常に限られているため、運賃高騰中。 政府がイスラエル上空の開放を承認したため、3/9週以降はさらに多くの航空会社が運航を再開することが期待される。 また、海上港および海運事業者は戦前と同様に完全に稼働しています。 TLV空港の貨物ターミナルは緊急対応体制で稼働しており、貨物受入時間は07:00～16:00のみ。</p>
UAE	<p>■ 海運会社アップデート 1. Maersk ホルムズ海峡通過船舶の対策を更新 上湾向け貨物にEmergency Freight Increase を導入リーファー・危険品などの新規予約を停止 2. Hapag Lloyd 上湾向けの全予約を停止（ジェッダ除く） War Risk Surcharge（戦争危険割増）継続 3. CMA CGM 上湾向け予約を即時停止（オマーン、ジェッダなど除く） Emergency Conflict Surcharge 継続 4. MSC 中東向け全予約停止海上輸送中の貨物は次寄港地へ迂回、手数料発生</p> <p>■ 港湾状況アップデート UAE港湾（全て稼働中）</p>

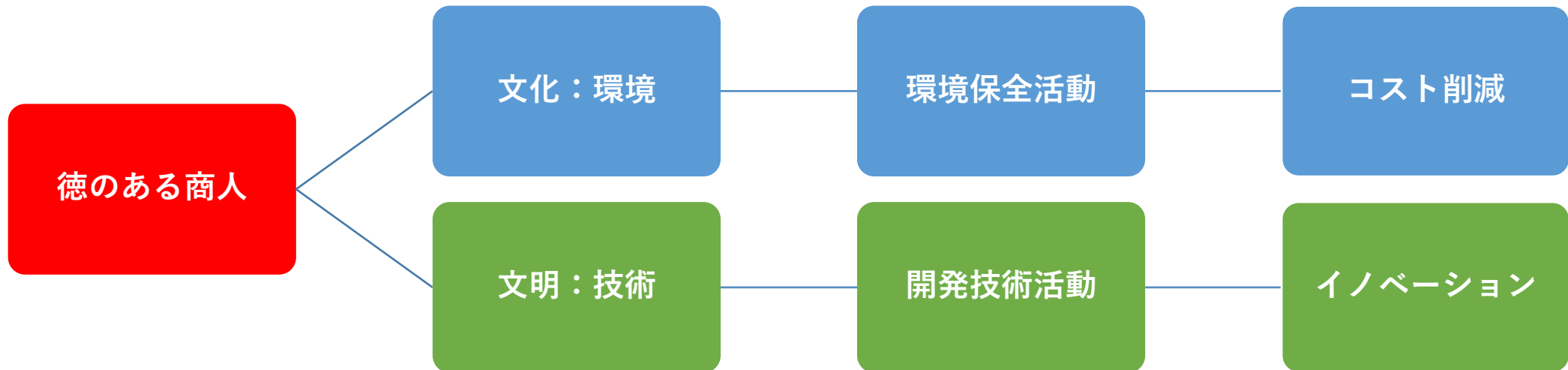
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

* サンシングループ経営理念

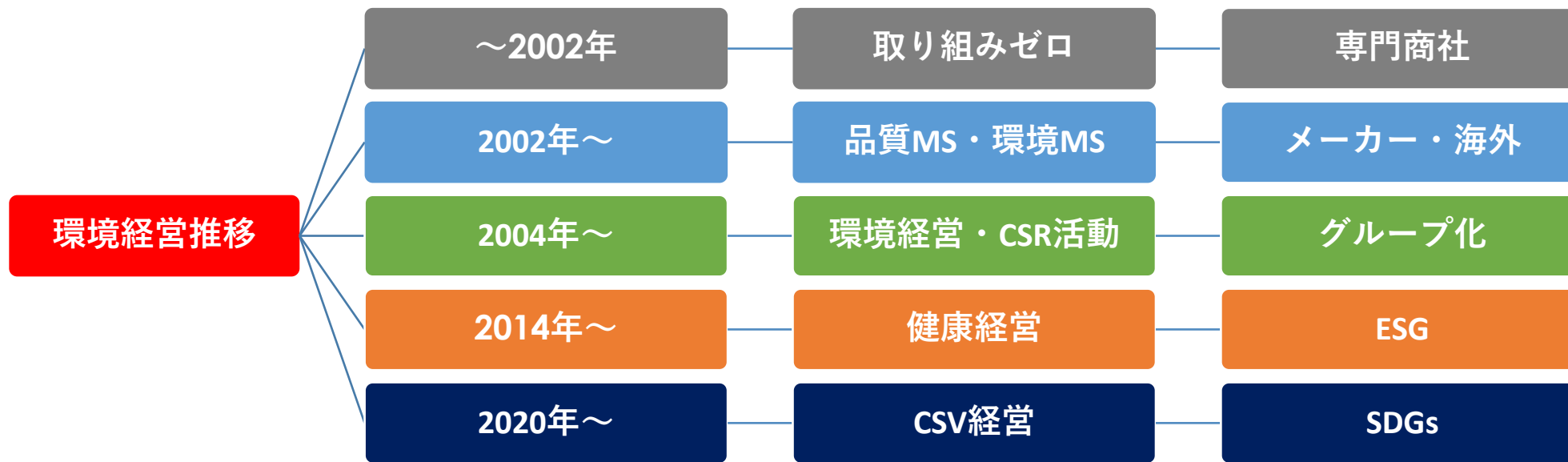
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の文化・文明発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

CSV経営を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

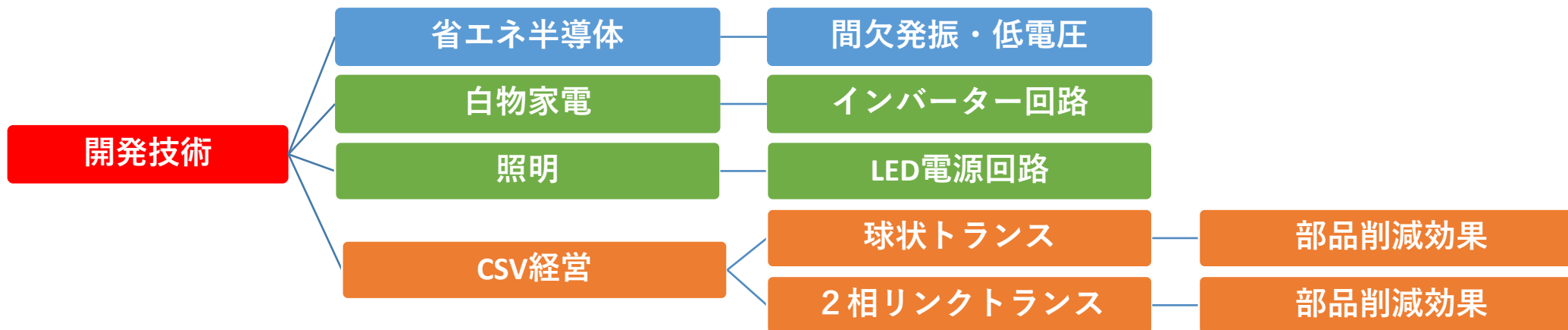
3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
 - **テレワーク**による電気/交通費削減
 - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
 - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
 - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト = 価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

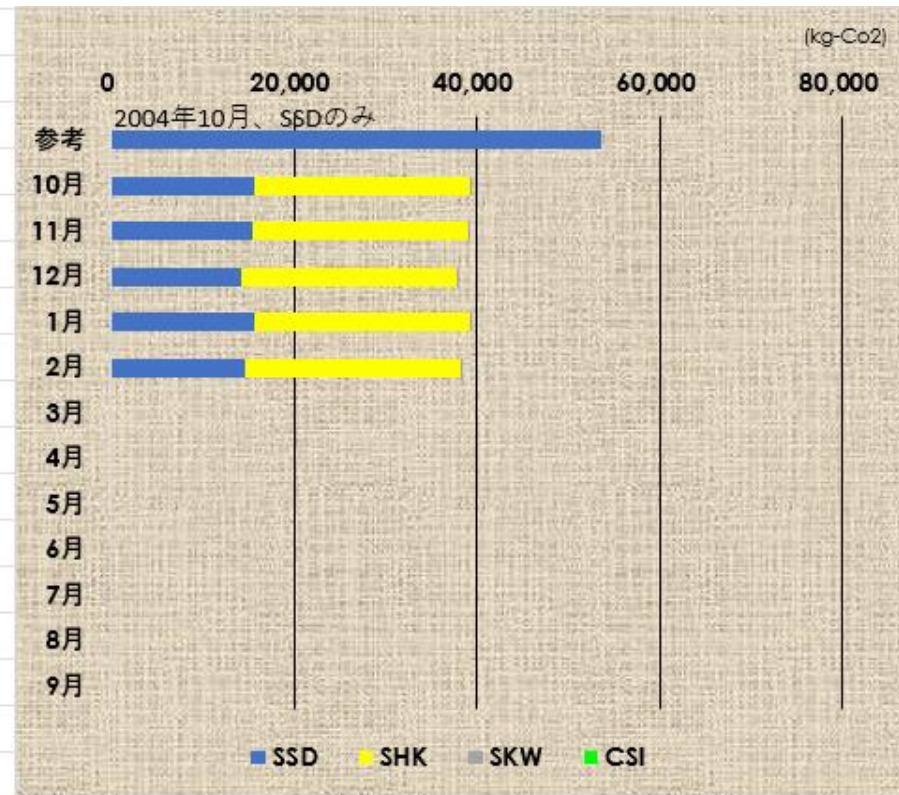
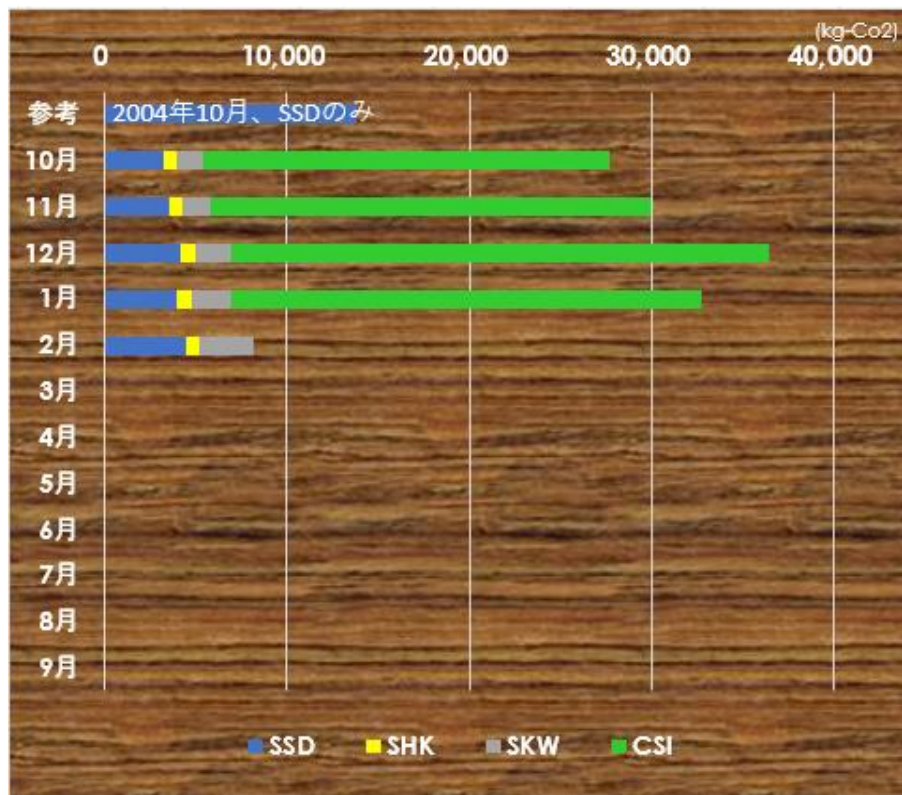
6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシングループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！

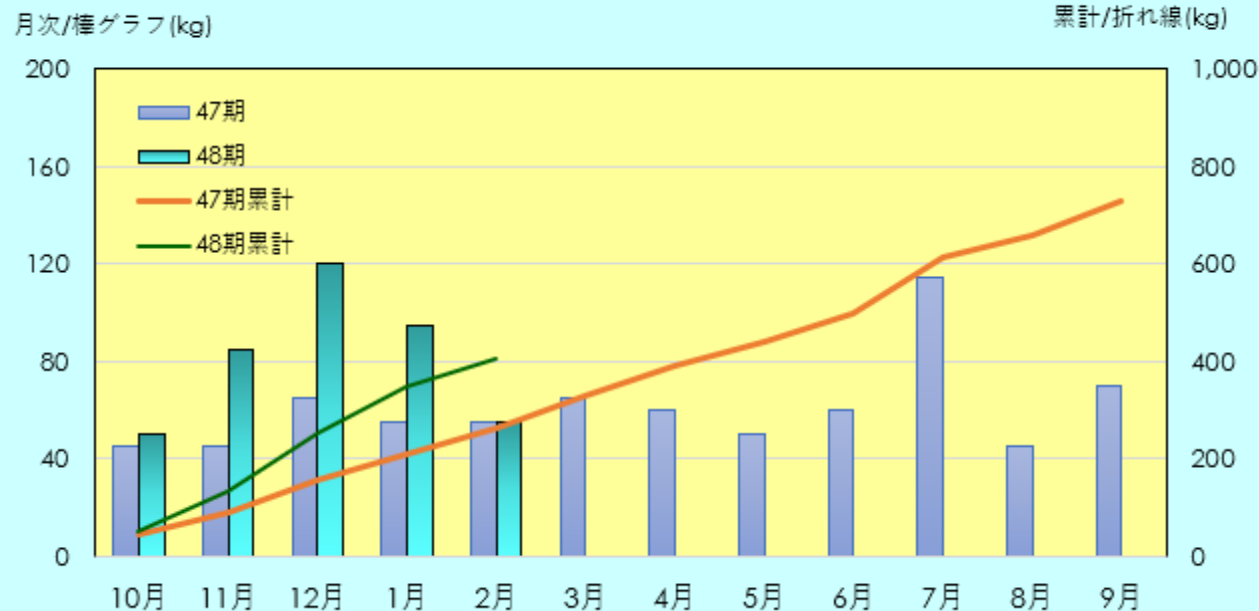
SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

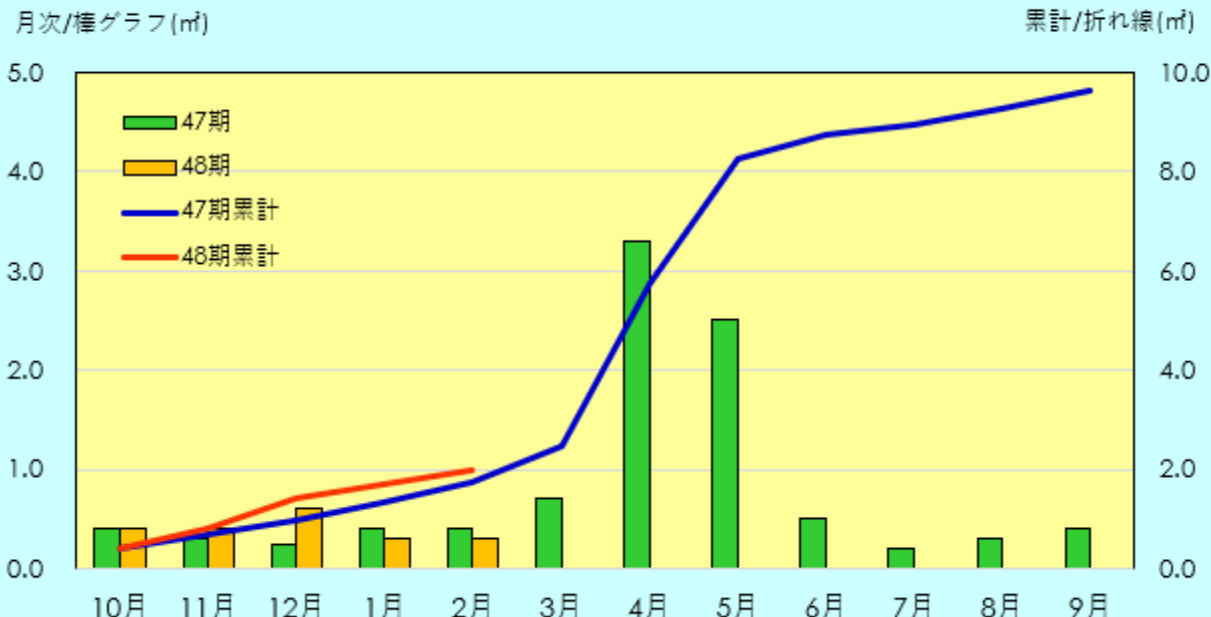
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



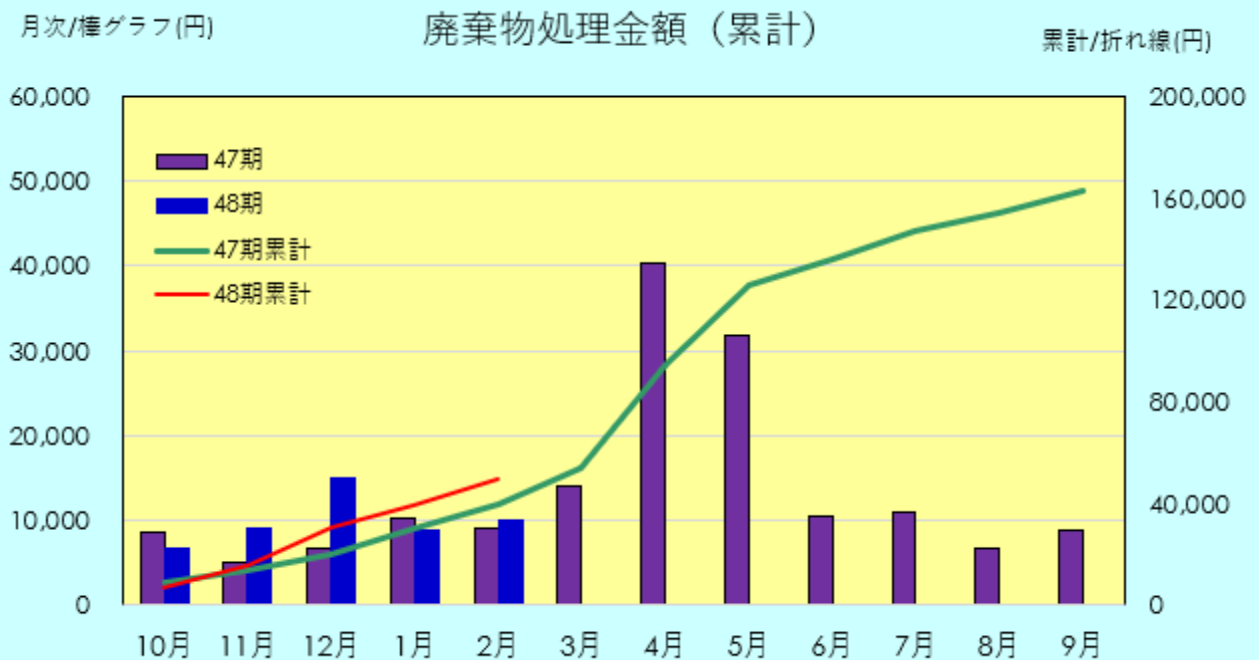
一般廃棄物 (SSD/本社)



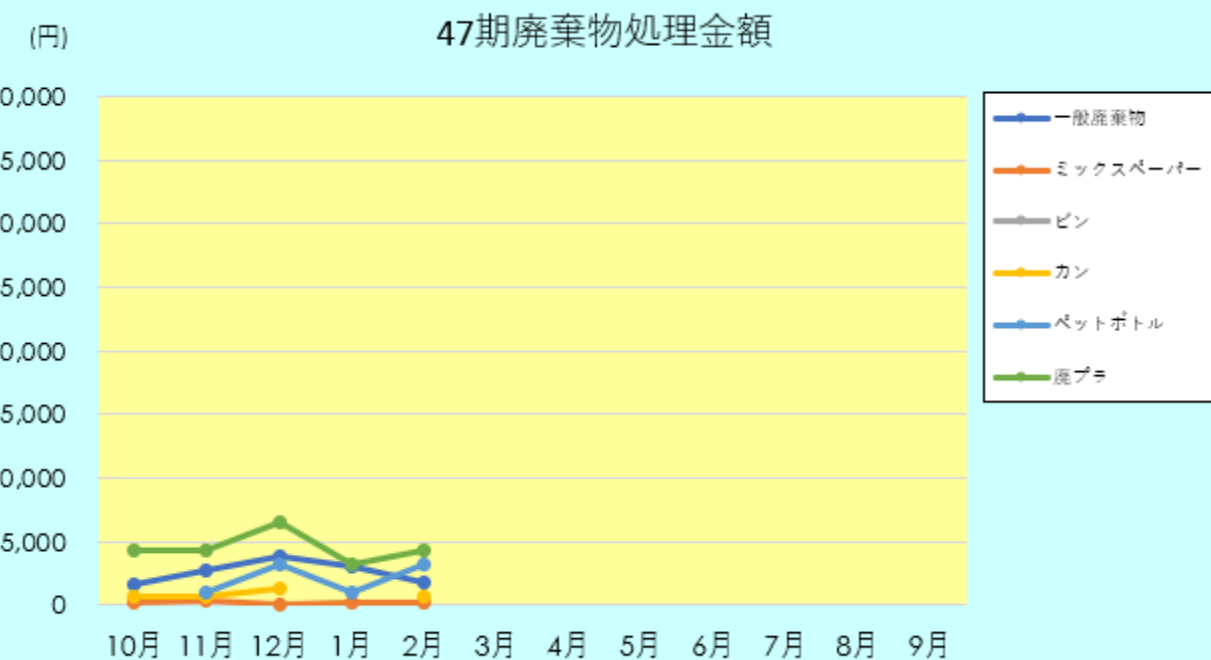
一般産業廃棄物 (SSD/本社)



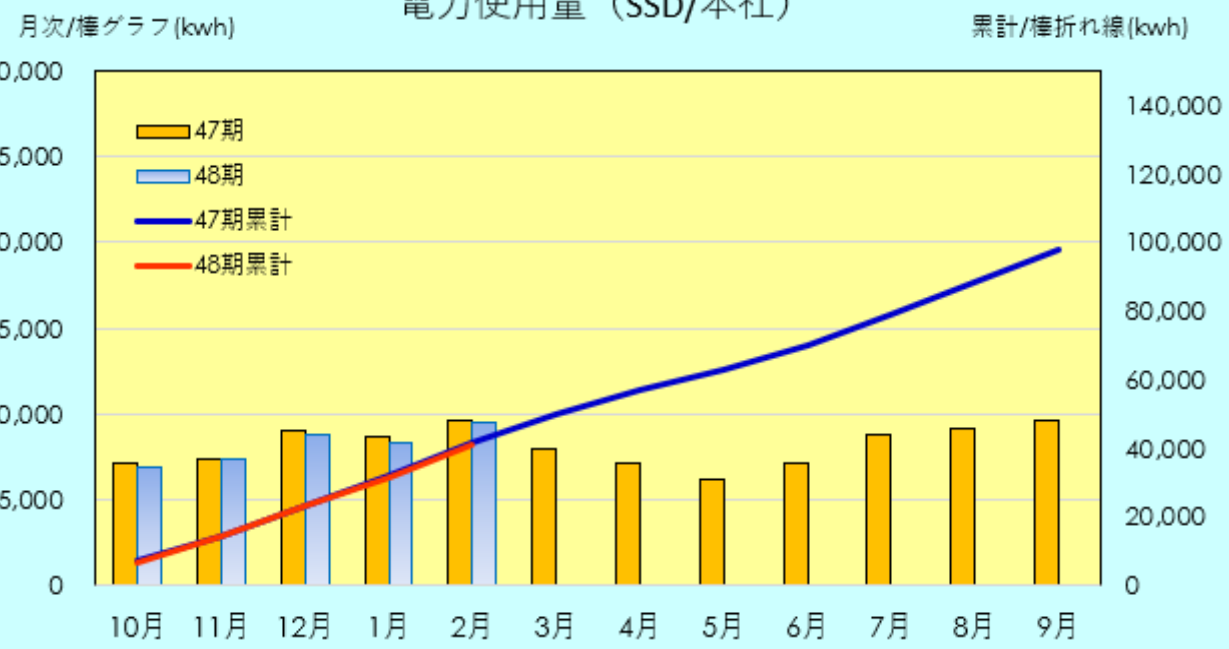
廃棄物処理金額 (累計)



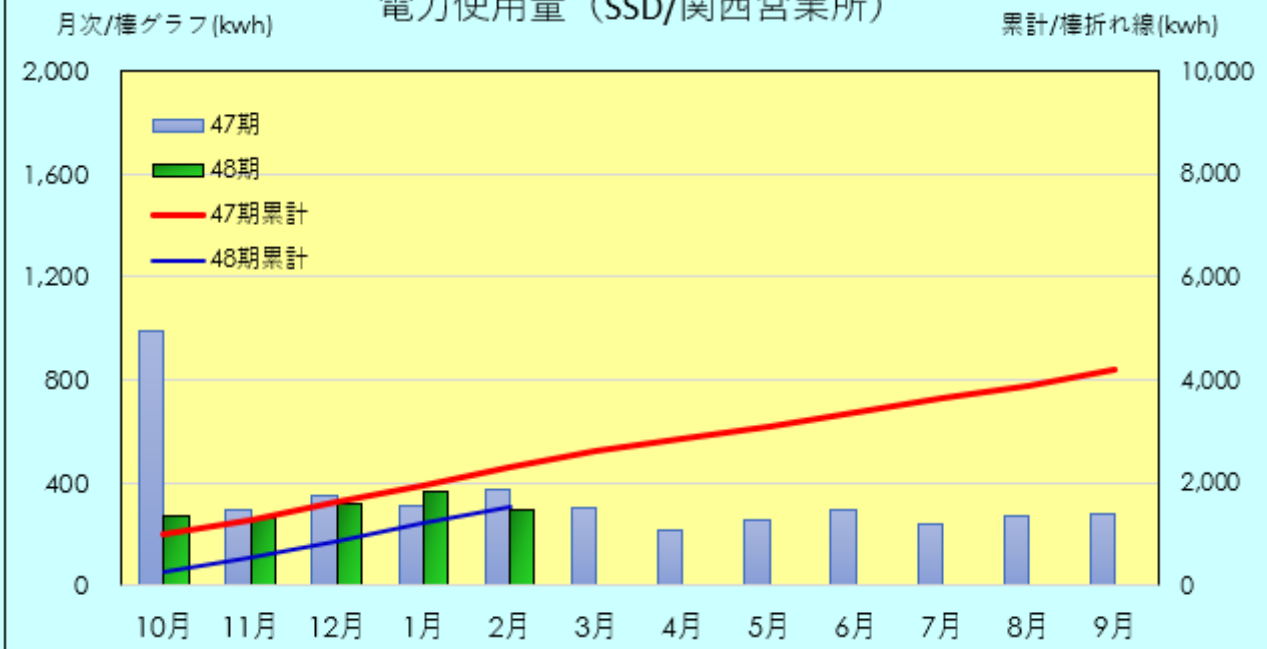
47期廃棄物処理金額



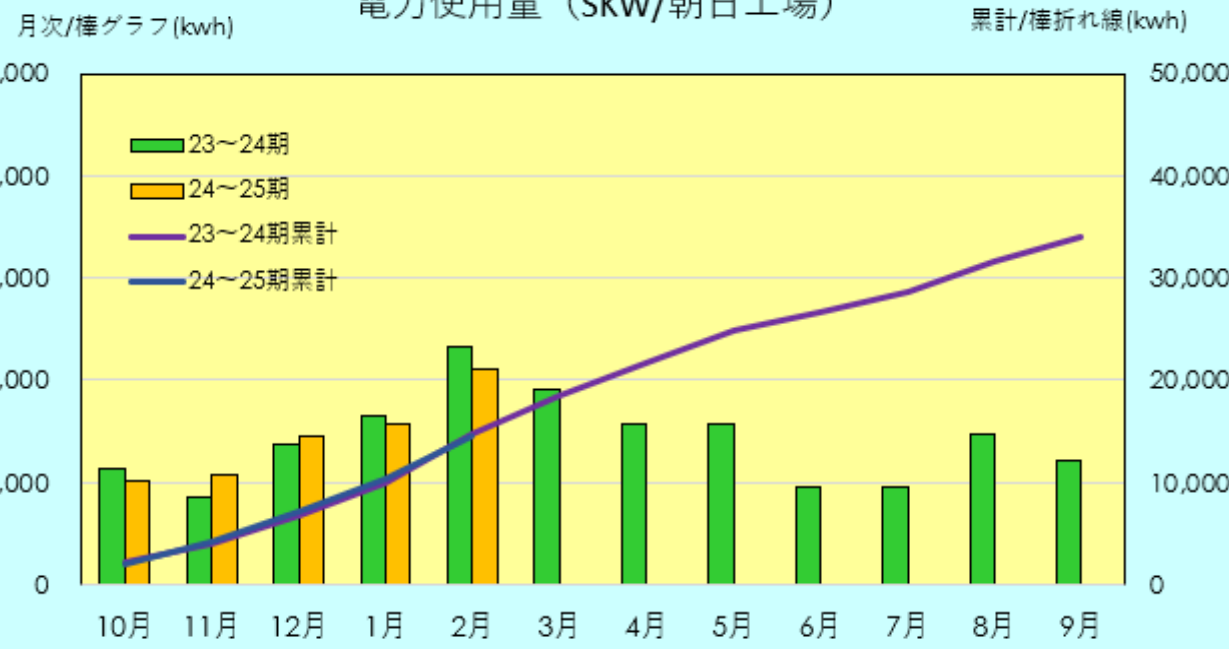
電力使用量 (SSD/本社)



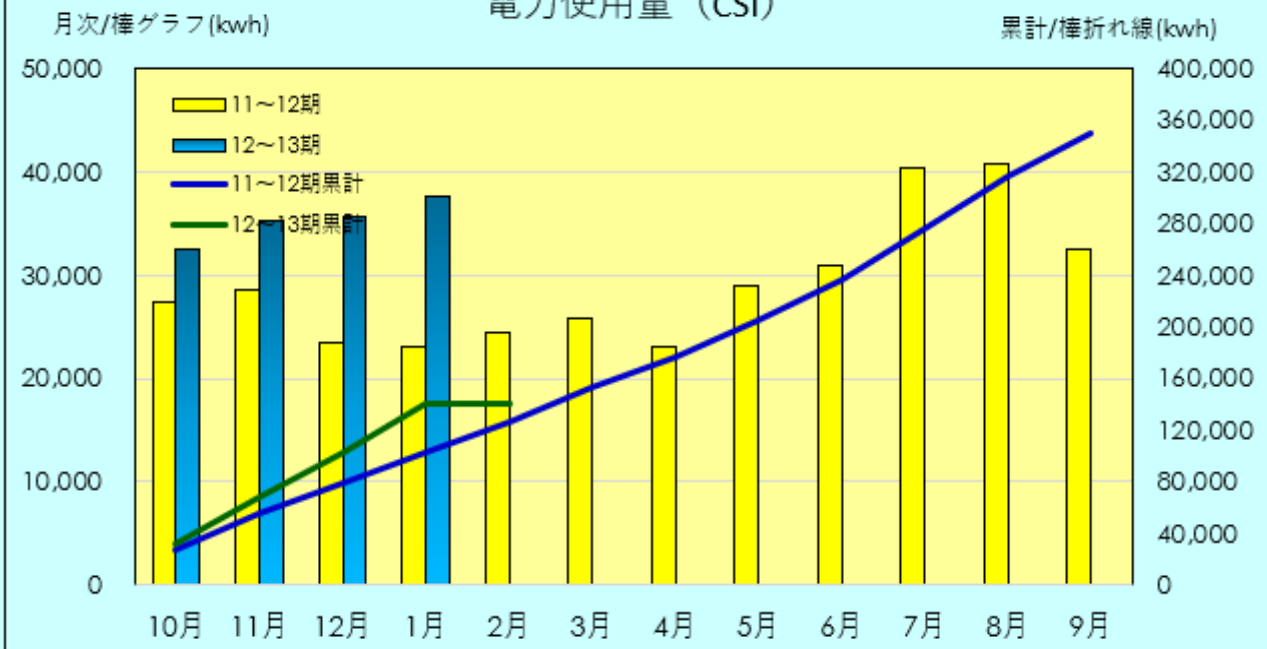
電力使用量 (SSD/関西営業所)



電力使用量 (SKW/朝日工場)



電力使用量 (CSI)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

健康診断 受診率100%を達成しました！

今年度の健康診断において、全社員が受診し、受診率100%を達成しました！社員一人ひとりが自身の健康状態を把握し、日々の生活を見直すきっかけとなる重要な取り組みとして、会社全体で受診を推進してきた成果といえます。また、受診しやすい環境づくりとして、受診スケジュールの柔軟な調整や社内での継続的な周知を行うことで、無理なく参加できる体制を整えてきました。その結果、全員が安心して健康診断を受けることができました。

今後は、健康診断の結果に基づくフォローにも力を入れ、再検査の受診や生活習慣の改善支援などを通じて、社員の健康づくりをさらに後押ししていきます。引き続き、社員が健康にいきいきと働ける職場環境の実現を目指し、取り組んでまいります。



地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（2月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設

